

週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」そこで、ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。

十字架上の死を遂げられた主イエスはその日のうちに十字架から降ろされ、墓に納められました。主イエスの弟子たちを中心に、主イエスがこのような死を遂げられたことに人々は落胆していました。人々はやはり主イエスはこの世の権力には勝てなかったのだ、やはり間違っていたのだと思ったのです。全ての望みは消え失せてしまったのです。翌日は安息日でした。安息日は行動できる距離や仕事が大きく制限されており、墓に行くことは事実上誰も出来ませんでした。安息日が終わるのを待っていたのです。そして日が上りはじめた時、マグダラのマリアは真っ先に墓へ行き、お墓の異変に気づいたのでした。急いで戻り主イエスの弟子で最も重んじられていたペトロとヨハネにそれを告げます。二人は急いで墓に向かいました。そして主イエスを包んできい布だけが残っており、主イエスの体だけが見当たらなかったのです。そして二人は家に戻っていきました。

聖書が伝える復活のメッセージは、ただ一言で言うならば「お墓が空であった」ということです。お墓に納めたはずの主イエスが三日の後には姿が見えなくなっていたというのです。主イエスがみんなの前でお墓から出てきたとは書いていないのです。ここに復活の大切な意味が含まれていると思います。

主イエスは確かに十字架上の死を遂げられ、墓に葬られました。しかし主イエスはそのまま墓に止まっておられません。聖書の記者は一貫して「主イエスは十字架にかかるようなことは何もしていなかったのに、人間の罪の故に十字架につけられた」と言っております。主イエスは人間に罪に負けることなく、また葬られたままではなく、死に勝たれたのだと告げているのです。従ってお墓が空であったというのはそれだけに止まらず、主イエスが人間の罪に勝たれ、決してその中に止まっておられなかったのだという、力強いメッセージなのです。

墓に駆け付けたペトロとヨハネも墓の中を見て信じました。これはただ主イエスの体が見当たらなかったというだけではありません。それは喜びの事柄だったのです。彼らの心はお墓の中に葬られるが如く沈み切っていました。主イエスがこの世を去られた落胆に沈んでいたのです。しかしこの主イエスの復活を信じた二人の心は、お墓から抜け出るように喜びにあふれたのです。彼らにとってお墓の出来事は自分の心の中の出来事に他なりませんでした。

この体験は次々と多くの人々に訪れます。主イエスが捕えられたのと同じように自分たちも捕えられるのではないかと恐れて隠れていた弟子たち、道すがら十字架の出来事を話ながら歩いていた弟子たち、主イエスの語りかけは様々でしたけれども、皆お墓の中にいるような暗い、沈み切った心から解放されて、喜びにあふれ、私は復活の主に出会ったのだと証しするものになっていったのです。復活は世にも不思議な奇跡物語なのではなく、罪のうちにある私達が、主イエスによって開放され、強められ、喜びにあふれて、新しい出発をするということに他なりません。

ペトロは主イエスが十字架につけられたエルサレムから故郷のガリラヤに行き、漁師に戻っていました。しかしその日は何の収穫もありませんでした。そこへ主イエスが現われて場所を教えると、おびたしい魚が取れました。ペトロは思い出しました。初めて主イエスに出会った時も全く同じだったと、一晩中漁をしても何の獲物もなかったところに主イエスが場所を教えてください、大漁になったのです。あなたを、人間を取る漁師にしてあげようという主イエスの言葉に従って、ペトロはすべてを捨てて主イエスに従っていったのです。ペトロははっきりとそのことを思い出し、あの時の勇気が、力が、感激がよみがえってきたのです。こうしてペトロは自分自身も主イエスの復活に与ったのです。

復活に与るとは、私達自身が主イエスによって罪のうちから解放され、強められていくことです。私達にも弟子たちと同じ喜びが与えられ、強められる確信を主イエスが与えてくださいました。主イエスは私達の心をたたき、出会おうとされておられます。私達一人一人に語りかける主イエスに私達も出会い、主の僕として備えられたいものであります。